

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和二年一月度 入選句（投稿総数千八百四十六句・一般投句数四百三十二句）

特選

山好きの夫の匂ひや齒朶飾る 大垣市 本田 勢津子

先ずこの句を一読し感じた事は、御夫婦が仲の良い事と次に違っていれば申し訳が無いが、たぶん御主人は他界されていると思った。
正月に注連縄か鏡餅の飾りに使う齒朶は夫婦和合の象徴とされ、山好きの夫を大切に又なつかしく想い句作され、大変すばらしいものとなった。

夜咄の狐障子にコンと啼き 大垣市 岡田 あや子

この様な情景は今は昔の感がするが、これから情緒豊かな子供を育てる為にこの句の様に影絵遊びを教へ障子に狐や鳩などを作りメルヘンの世界を理解できる教育をして欲しい。

寒鰯や「きときと」といふ富山弁 愛知県豊田市 城山 憲三

今は俳句三昧の生活を送っているが、五年前迄は往復六百キロ米月に三回ぐらい富山に行っていた。
寒鰯を筆頭に「のどぐろ」「しろえび」たくさん、たくさん美味しいものがある。それを販売している店が「きときと市場」きときとは富山弁で生が良く、ピチピチしていると言う事。機会があれば又富山に行ってみたい。

秀逸

オムレツふはり霜焼の母の指	神奈川県大和市	岩田 爾瑠
生き甲斐は十人十色日向ぼこ	愛知県名古屋市	舘野 茂子
離乳食育児日記の冬ぬくし	大垣市	傍島 豊子
千歳飴下げて五歳の雄姿かな	大垣市	香田 末代
秒針の音のみ聞こゆ寒さかな	大垣市	大杉 すみゑ
子等帰り又二人だけ根深汁	大垣市	宮脇 和子
よろよろがよちよちを追う春の午后	大垣市	川瀬 幸子
推敲の下五落着く去年今年	大垣市	中山 あや子
論客の逝きて令和も十二月	愛知県名古屋市	岩田 遊泉
喜寿迎へ二人三脚花八手	三重県四日市市	後藤 允孝

入選

千早振る富士の湧水紅葉映ゆ
発つ鴨の水蹴る音や水嶺湖
何はさてガラス拭きから年用意
土かぶせかぶせて葱の白き猯
紅葉狩ジビエ料理の峽の宿
冬至柚子ふやけるほどに長湯かな
薫の香の満ちて始まる注連作
元旦の一番客は庭雀
寒晴に吸い込まれゆく槌の音
七草の七つのみどり濃き淡き

愛知県額田郡	平松	京師
不破郡垂井町	宮代	一草
大垣市	大杉	すみゑ
大垣市	米山	春江
大垣市	新町	恵子
大垣市	大角	信華
大垣市	小林	研
大垣市	田中	雅子
大垣市	北浦	典子
大垣市	早崎	美弥子

入選

初神籤新芽の枝に結びつけ
チームワン燃えるラグビーわく日本
白鳥へ青春切符で友誘ひ
鉄瓶の湯気たつ今朝は寒の入り
太文字の墨をのみこむどどの火
始発待つ駅のホームの寒さかな
ぼろ市や使わぬものを手に取りぬ
デジタルが好きと言えども日記買う
汚しては困るとエプロン春着の子
ピカソの蒼シャガールの青冬菜畑

大垣市	辻	和代
不破郡垂井町	傍島	法苑
大垣市	鹿野	三地代
岐阜市	田中	淳子
大垣市	高木	歌佐
安八郡神戸町	高橋	日出美
神奈川県川崎市	佐藤	廣枝
三重県鈴鹿市	松井	政典
三重県四日市市	藤田	勝民
岐阜市	堀江	美州

選者吟

寒鰯や富山湾てふ大生簀